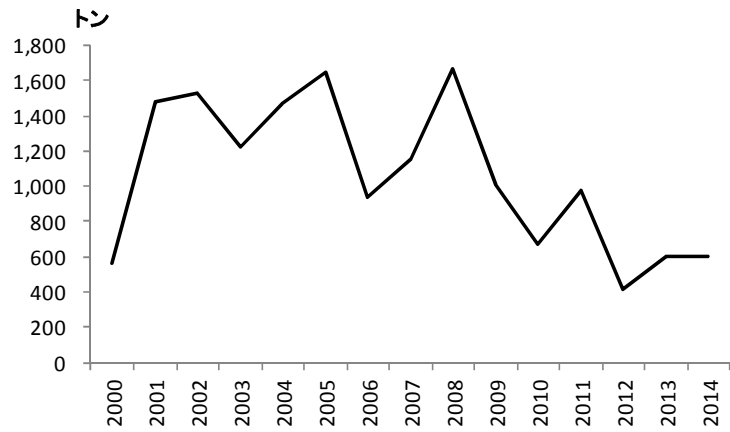


マアジ

平成27年12月

資源の動向 「低位・減少」

相模湾のマアジ漁獲量は2008年以降減少傾向にある。相模湾で漁獲される多くのマアジは東シナ海を由来としたマアジ太平洋系群からの供給によるものと考えられ、現在資源量が減少傾向であるため相模湾での漁獲も減少していると考えられる。



相模湾のマアジ漁獲量の経年変化
(定置網: 2000~2014)

主な対象漁業

○定置網



生物学的特性

○分布: 日本の沿岸全域

○移動: 東シナ海でふ化したマアジは長距離の回遊を行い、太平洋・日本海で春に北上回遊、秋に南下回遊する。一方、地付きのマアジは長距離回遊を行わない。

○成長・産卵期: 1年で全長15~20cm、2年で全長22~27cm程度に成長し、成長が早い個体は満1歳で成熟し産卵する。産卵期は1月~5月。

